

児童発達支援事業所における自己評価総括表
----------------------

○事業所名	PYT-ぴゅっと-旭店		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方のニーズをモニタリングなどでしっかりとヒアリングして、支援計画に落とし込むことができています	モニタリングで聞いた児童の情報などは、しっかりと全職員に共有するように心がけている	学習、SST、運動など療育のカテゴリごとに支援会議を定期的に行っていく
2	平日や休日のイベント内容と併せて、個別支援計画達成に向けて個別支援を毎日実施するように計画を立てている。	・施設内のケガが発生しやすい場所には緩衝材を配置したりと早期対策を行っていること ・災害に対する避難訓練や交通安全教室をイベントを通して児童に参加してもらい学ぶ場を設けている	・災害マニュアルを職員間で再度共有して避難経路や避難手順を完璧に把握できるようにしておく
3	ケガや事故が少なく児童が安全に過ごせる環境が整備されていること	イベントや療育を進める上で、1階と2階の空間を分けるなど環境設定を実施できている。	・災害マニュアルだけでなく職員へのマニュアルを取り入れ、児童への対応や療育の進め方が視覚として落とし込めるようにしている。また定期的に見直していき、児童の発達成長や保護者のニーズに沿った内容にしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流の場が少ないこと	開所して1年がやっと経ったばかりなので、職員と保護者の関係構築に時間がかかり保護者会などを開催することができなかったため	ある程度関係を構築することができたため、年に2回程保護者と職員が交流できる保護者会の場を設けていく
2	地域交流の場が少ないこと	地域の教育機関や自治体などとの関係構築ができていないため	長期休暇(夏休み期間)などの際に、イベントに招待して交流する場を設けていく
3			

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 PYT-びゅっと-旭店

公表日 2026年 2月 23日

利用児童数 14

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	1		2		定期的にも全職員の紹介をお便りに記載し、どのような職員が何名在籍しているのかが分かるように工夫してまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4			1		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。		2		3		保護者のニーズに合わせて地域交流を進めたいと思います。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	1	2		保護者会開催に向けて準備をしております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4		1			送迎時に実施した療育のお伝えと併せて、ご家庭での様子をヒアリングし、適切にお答えができるようにしていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18 父母の会の活動の交流や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		1	4			保護者会開催に向けて準備をしております。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1				保護者のお困りごとやニーズに沿いながら適切に対応していきたい。様々な窓口に対応できるよう地域のサービスをお伝えできるようにしていきます。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4			1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1		1		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5						
23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		1			

常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	5					事業所の安全計画をもとに運営を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	4	1				ご利用中のケガや、事故発生時に、迅速にまた適切な方法でお伝えができるようにしてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4			1	通い始めてから子供がすごく成長しました！	ご意見ありがとうございます。 成長を感じられているようで何よりです。 今後も児童様に合った療育を実施していきたいと考えております。 ご意見がきっかけになります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4			1	子供の安心感と楽しみにしているかわからないに理由ですが、子供がまだ発語がない為、楽しみにしているか明確に視察がわかっていないのでこの回答となっています。	施設に対しての児童様の安心感や期待感が保護者の方に伝わっておらず、大変申し訳ございません。 言語療育に積極的に取り組み、送迎時やモニタリングの際にご様子をしっかりとお伝えできるように心掛けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	1			まずは本人が楽しく通えているようでありです。 前回のモニタリング面談以降、特性に応じた対応やトレーニングを増やしていただけて助かります。 いつもありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。 モニタリングやヒアリングの機会を増やし、職員全員に共有しより一層個々に合った療育ができるよう心掛けてまいります。

児童発達支援事業所における自己評価結果
---------------------

事業所名	PYT-びゅっと-旭店				公表日	2026年 2月 23日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	シフト作成時に人数配置を考え、多店舗にヘルプを要請して児童数に対して適切な人員を確保するようにしている	長期休養している職員がいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		バリアフリー化は現状できていない 整理整頓を心掛け療育環境を整えていく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		1階と2階の空間を活用し、児童の気持ちに合わせて対応できるようにしております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		イベントの実施時には当日に振り返りを行い、成果点や反省点をまとめ次回に生かせるようにしております。また療育ごとの担当を決めており、1か月に一回児童の発達段階に沿った内容にできるよう会議を開いております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		本年が初めての為、今回いただいた内容をもとに改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		現時点では実施出来ないところがあるため、必要に応じて取り入れていきたいと思っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修や職員の持ち寄りで研修会を開いております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		毎月の予定表の配布、またはホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		モニタリング後、支援計画作成後はすぐに職員間に共有を行い共通認識として落とし込めるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			より分かりやすく、作成しやすいツールを模索していきたいとおもいます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各療育ごとに担当を決め、月一で会議を開いております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		年間でプログラムの計画を立て、固定化しないように改善をしながら決定しております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		月で計画を立て、個別と集団のバランスを大切にしながら進めております。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼を実施し、当日の流れや職員の体調確認を把握できるように進めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼を実施し、当日の児童の共有や保護者引き渡し時の内容、明日の療育内容と準備を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		リズムや業務日誌の作成をしており、日々の児童の様子を記録しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		一部ではありますが関係機関同士での情報共有を行っております。保護者のニーズに合わせて広がっていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		地域の教育機関との交流の場は全くつくっていない交流会などの場を設けていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		地域の教育機関との交流の場は全くつくっていない交流会などの場を設けていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		モニタリング時や送迎時での対応をさせていただいているだけなので、計画を立てて実施できるようにしていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		ご契約時に説明しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2		保護者からのお悩みに迅速に対応できるよう、職員の対応力が向上できる研修を実施していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4		保護者会などはまだ実施できていない開所して1年が過ぎたので保護者間の交流や、情報共有の場を設けていく
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		保護者からのお悩みに迅速に対応できるよう、職員の対応力が向上できる研修を実施していきます。

ア	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1		ブログという形でホームページにあげておりますが、頻度としては低いため定期的にあげることができるよう実施していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		地域との交流の場は現状つくれていない 祭りや催しなどの際招待するなど試みを行っていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		服薬やてんかん発作時の対応が必要な児童が在籍していない。ただ知識として習得できるよう研修に参加をしていく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		重度のアレルギー対応児童が在籍していない。 クッキング時にはアレルギーに関する食材の使用はせず、誤飲がないように徹底しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		会社にて委員会を開催しており、定期的な研修を実施しております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		会社にて委員会を開催しており、定期的な研修を実施しております。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	PYT-びゅっと-旭店		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方のニーズをモニタリングなどでしっかりとヒアリングして、支援計画に落とし込むことができています。	モニタリングで聞いた児童の情報などは、しっかりと全職員に共有するように心がけている。	学習、SST、運動など療育のカテゴリごとに支援会議を定期的に行っていく。
2	平日や休日のイベント内容と併せて、個別支援計画達成に向けて個別支援を毎日実施するように計画を立てている。	・施設内のケガが発生しやすい場所には緩衝材を配置したりと早期対策を行っていること ・災害に対する避難訓練や交通安全教室をイベントを通して児童に参加してもらい学ぶ場を設けている。	・災害マニュアルを職員間で再度共有して避難経路や避難手順を完璧に把握するようにしておく。
3	ケガや事故が少なく児童が安全に過ごせる環境が整備されていること。	イベントや療育を進める上で、1階と2階の空間を分けるなど環境設定を実施できている。	・災害マニュアルだけでなく職員へのマニュアルを取り入れ、児童への対応や療育の進め方が視覚として落とし込めるようにしている。また定期的に見直しを行い、児童の発達成長や保護者のニーズに沿った内容にしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流の場が少ないこと。	開所して1年が経ったばかりなので、職員と保護者の関係構築や、日々の療育の土台作りを優先していたため、保護者会を開催することができなかった。	保護者との関係を構築することができ、またマニュアルの導入により療育の土台ができたため、年に2回保護者と職員が交流できる保護者会の場を設けていく。
2	地域交流の場が少ないこと。	地域の教育機関や自治体などとの関係構築ができていないため。	長期休暇(夏休み期間)などの際に、イベントに招待して交流する場を設けていく。
3			

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 PYT-びゅつ-旭店

公表日 2026年2月23日

利用児童数

18名

回収数 9名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1		1		定期的に全職員の紹介をお便りに記載し、どのような職員が何名在籍しているのかが分かるように工夫してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	8	1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1		1		送迎時のお伝えやモニタリングに指導員も同席させていただきながら、日々どのような療育を実施しているのかのお伝えを強化していきたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8				1	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1		7	保護者のニーズに合わせて地域交流を進めていきたいと思えます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6		2		1	保護者会開催に向けて準備をしております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1			1	送迎時に実施した療育のお伝えと併せて、ご家庭での様子をヒアリングし、適切にお答えができるようにしていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1			1	上記と併せて、日々子どもたちと関わっている様子や、職員がどのような声掛けをしているかを送迎時にお伝えしていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3		4	保護者会開催に向けて準備をしております。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	3			1	保護者のお困りごとやニーズに沿いながら適切に対応していきたい。様々な窓口に対応できるよう地域のサービスをお伝えできるようにしていきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1			1	
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9						

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1		1	事業所の安全計画をもとに運営を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	1	1	ご利用中のケガや、事故発生時に、迅速にまた適切な方法でお伝えができるようにしてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	1			問題点に対して、個別性を考えた支援を良くして下さり助かっています。 ご意見ありがとうございます。 モニタリングなどを通して情報を共有し、より個人に適した療育ができるよう心掛けてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6	2		1	児童が楽しんでいること、また悩んでいることをリトムや送迎時にしっかりとお伝えできるようにいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	1		親子共にとても満足させていただいています。 ありがとうございます。 ご意見ありがとうございます。 満足頂いているようで何よりです。 より一層保護者様と児童様が安心して通える環境づくりに励んでまいります。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	PYT-びゅっと-旭店		公表日		2026年 2月 23日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	シフト作成時に人数配置を考え、多店舗にヘルプを要請して児童数に対して適切な人員を確保するようにしている	長期休養している職員がいる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		バリアフリー化は現状できていない 整理整頓を心掛け療育環境を整えていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		ロッカーの上やデスクの上が片付いていない時があるため、マニュアルに落とし込み清潔な状態が維持できるようにしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		1階と2階の空間を活用し、児童の気持ちに合わせて対応できるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		イベントの実施時には当日に振り返りを行い、成果点や反省点をまとめ次回に生かせるようにしております。また療育ごとの担当を決めており、1か月に一回児童の発達段階に沿った内容にできるよう会議を開いております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		現時点では実施出来ていないところがあるため、必要に応じて取り入れていきたいと思っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修や職員の持ち寄りで研修会を開いております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		毎月の予定表の配布、またはホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		モニタリング後、支援計画作成後はすぐに職員間に共有を行い共通認識として落とし込めるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		より分かりやすく、作成しやすいツールを模索していきたいとおもいます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各療育ごとに担当を決め、月一で会議を開いております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		年間でプログラムの計画を立て、固定化しないように改善をしながら決定しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		月で計画を立て、個別と集団のバランスを大切にしながら進めております。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼を実施し、当日の流れや職員の体調確認を把握できるように進めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼を実施し、当日の児童の共有や保護者引き渡し時の内容、明日の療育内容と準備を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		リズムや業務日誌の作成をしており、日々の児童の様子を記録しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		保護者によっては家庭の都合等で期間が遅れてしまうことがあるため、早目のご案内を徹底しております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		一部ではありますが関係機関同士での情報共有を行っております。保護者のニーズに合わせて広がっていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		関係機関よりお便りをいただいております。また送迎時に遅れが生じてしまうときにはご連絡することを徹底させていただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		保育所や幼稚園を卒園される児童がいないため、必要に応じて情報共有を行いたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		学校を卒業される児童がいないため、必要に応じて情報共有を行いたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		交流できる機会を設けておりません。保護者や地域のニーズに合わせて検討していきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		交流できる機会を設けておりません。保護者や地域のニーズに合わせて検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		モニタリングや会議が重なり実施できていないことがあるため、参加できるようにしていきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		モニタリング時や送迎時での対応をさせていただいているだけなので、計画を立てて実施できるようにしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		ご契約時に説明しております。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	4		保護者会イベントが実施できていないため、計画を立てて準備をしていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		イベントとして地域交流の実施が出来ていないため、イベントに入れ込むなどし、交流を図っていききたいと思えます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		シフト制の勤務の為、全員での参加が出来ていないため、勤務の調整を行い、実施できるようにしていきたいと思えます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		シフト制の勤務の為、全員での参加が出来ていないため、勤務の調整を行い、実施できるようにしていきたいと思えます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットや事故が起こってしまった場合、当日に共有を行い、即改善に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		会社にて委員会を開催しており、定期的な研修を実施しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		会社にて委員会を開催しており、定期的な研修を実施しております。	